

FW-403型 オブラート包装機

このオブラート包装機は、昭和23年に開発されたフジキカイの包装機械第1号であり、今日の発展の基盤を築いたFW-401型キャラメル包装機の技術を応用して開発されました。

キャラメル包装機が主にワックスペーパーを使用し、キャラメルの上面で包材を折りたたむのに対し、このオブラート包装機はその名の通り、包材にオブラートを使用、製品の側面で包材を折りたたむ方式です。

記録が残っておらず、1号機の開発年月は定かではありませんがこの展示機械は1971(昭和46)年、共親製菓株式会社様に納入された機械です。

さらに、このオブラート包装機の技術を応用して、FW-405型角砂糖包装機が、折りたたみ機構をひねり機構に改造してFT-5型ソイスト包装機も開発されました。